事例No.	2663
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	小浜市阿納体験民宿組合

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・観光 ・移住定住

事例種類	地域資源の活用

事例内容・タイトル

小浜市阿納体験民宿組合

出典

平成30年度ふるさとづくり大賞事例集

優　秀　賞

小浜市阿納体験民宿組合　　福井県小浜市

地域経営改革　地場産品発掘・ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化　観光振興・交流　産業振興　コミュニティ

概　　要

小浜市の北東部の海岸線に位置する阿納地区は、古くからフグやタイの養殖など半農半漁とともに、漁家民宿を経営してきた。昭和40～50年代頃には、大勢の海水浴客が押し寄せ民宿経営も順調であったが、レジャーニーズの変遷に伴い、宿泊客は減少、さらに景気の低迷によるフグ需要の伸び悩み、後継者不足、経営者の高齢化など、集落の人口減少が課題となっている。

地域の強みである「漁業・養殖」と「宿泊」を活かした漁村集落ならでは体験メニューの開発により教育旅行商品の造成に取り組んでいる。



【釣り堀でのタイの釣り上げ】


【タイ捌き】


【シーカヤック)】

評価された点

・漁家民宿の出資により設立された「ブルーパーク阿納」を中心に、独自の体験コースを考案し、小中学校の修学旅行を受け入れ成功している。漁業の集落の活性化のモデルとして期待できる。
・漁業民宿事業者が、自ら生徒達が関心を持つプログラムを開発、提供し、教育旅行の受け入れを拡大。教育旅行で訪れた県外の生徒が市内の高校海洋学科へ進学、市内への定住希望につながるなど、Ｉターンや定住化の促進に寄与しているのも評価できる。今後のインバウンド対応に期待。
・わずか10年足らずの取組みで受け入れ数を20倍以上に増やすなど、アイディア次第で集客を伸ばすことができるという良い実践例。単なる体験メニューにとどまらず、民宿の主人や女将と学生が語らう場を設けるなどの工夫も評価したい。
・体験メニューの考案だけでなく、同時に受け入れ態勢の整備をするなど組織強化を行っている点に継続性が見られるため評価できる。また、取組が移住や後継者の確保につながってきている点も評価できる。
・地域資源を生かして、旅行商品化した好事例であり、売上数字も着実に伸びている。
・漁村集落ならではの体験メニューによって、人気ある教育旅行の目的地となっている。このことを通して地域の活性化に寄与している。
・危機から自ら立ち上がり、事業展開をおこなうことで、地域再生した好事例。具体的な成果もあげており、後継者確保につながるなどインパクトも大きい。
・地域づくりの代表的看板ブランドとしての役割を果たしつつ、それ故に次のステージとしての期待も大きく、地域ブランドづくりによる教育旅行商品のモデルとして、より一層の大きな貢献を期待しているところです。